

こちら校長室

こころ



令和5年度



令和5年 11月 28日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

## 目を輝かせ 今を大切に生きる子 ～しなやかに 夢中に 安心安全に～

### 人権を大切にするための良い習慣とは

京都市は12月を人権月間と位置付けています。色々な人権に関するイベント等が開催されます。修学院小学校でも人権月間をきっかけに修学院小学校が大事にしている「人を大切にする」ことについて「なかよしの日」の話をしながら改めて振り返りました。そこでさらによくなっていくために11のを行いについて「この行きのどこに人を大切にする要素があるのか」を考えながら示していきました。

- ①「おはようございます」「さようなら」「ありがとうございました」など明るく挨拶ができる。
- ②自分の靴だけでなく他人の靴もそろえる。（上靴の後ろを踏まない。）
- ③返事は短く「ハイ」と明るくはっきり言う。
- ④背筋を伸ばし、良い姿勢で授業に向かう。
- ⑤授業が始まる前に机上に準備物がそろっている。
- ⑥授業に関係の無い余計なものを机上に出さない。
- ⑦席を立つときには椅子を必ず中に入れる。
- ⑧先生や友達の話をしっかり聞く。
- ⑨拳手は必ずひじを伸ばして相手に分かりやすく示す。
- ⑩お道具箱など整理整頓をする。
- ⑪開始時刻を守って席につく。（中間・昼休み後・掃除など）
- ⑫（ここは自分で考えてみる。）



どうでしょうか？この中でこの項目「人を大切にすることにつながる？」というのはなかったでしょうか。是非家でも話題にしていただけると嬉しいです。

この行きを少しでも自分のものにすることによって、他者意識が芽生え、それが「社会性」につながります。心に働きかけて道徳性を養い、行動のきっかけづくりをする道徳の授業とは違い、「行動を変えて、道徳性を養う」ということかもしれません。私はどちらとも大事にしています。喜怒哀楽色々な感情がある中で、名言を読んだり、友達の言葉に勇気をもらい行動することもあれば、思いきって部屋の掃除をしたり、モノを捨てたりすることでも心がすっきりすることもあります。行動に関しては続けていくと「良い習慣」に変わっていきます。ルーティンワークになると毎日が楽しく過ごせそうです。こんな文章を書きながら、本やプリントが散乱している自分の部屋も片付けて気持ちの整理をしなければと自分に言い聞かせています。

今すぐできる良い行きとはどんなことですか？